



“地域のことは地域で考えよう”

2017年8月28日

## おきぎん県内景況・速報 2017年7月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高は前年同月を下回る。  
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数は下回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。  
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。  
ホテル稼働率は、リゾートホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

#### ■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

## おきぎん県内景況・速報(2017年7月分)

◎2017年7月 おきぎん「カトレア」景況図



### ◎概況：県内景況は、拡大している。

7月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は衣料品や食料品が伸び悩み、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、VTR、洗濯機などが伸び、4ヵ月ぶりに前年同月上回りました。新車販売台数は普通乗用車、小型乗用車の需要減少により、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国発注の大型工事などにより前年同月上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月上回りました。

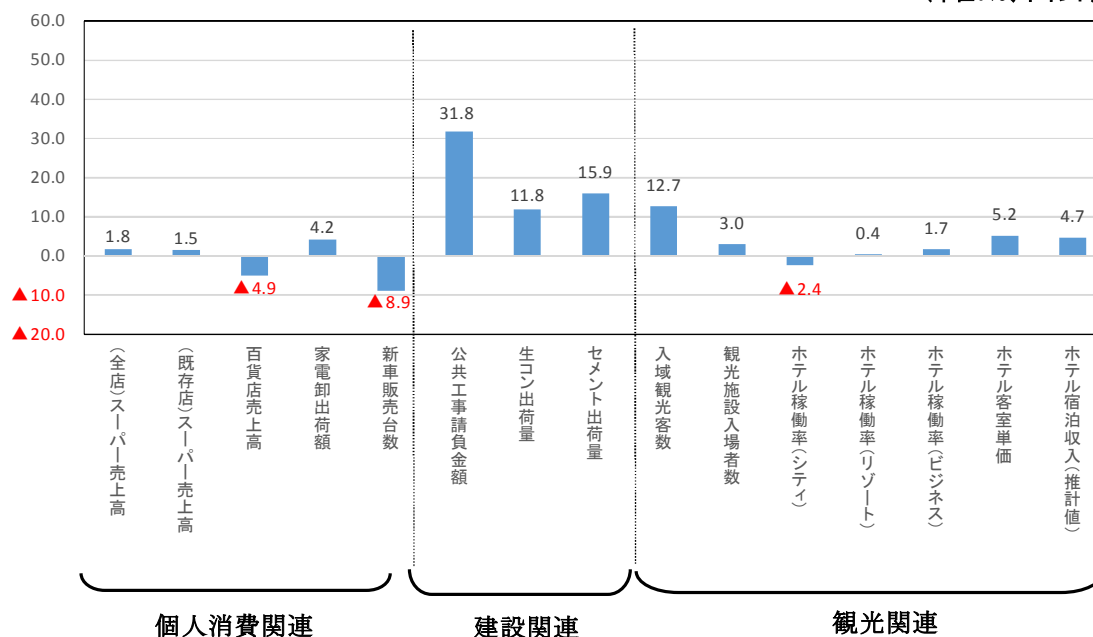
観光関連では、入域観光客数は58ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はリゾートホテル、ビジネスホテルが前年同月上回り、シティホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から42ヵ月連続で判断維持)

### 主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



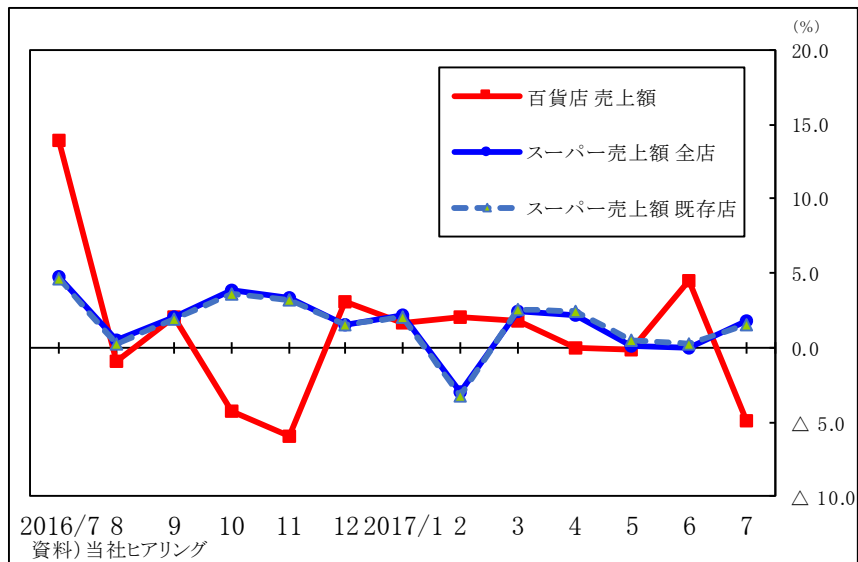


■個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2016/7	4.8	4.6	13.9
8	0.5	0.2	△ 0.9
9	2.1	1.9	2.0
10	3.8	3.6	△ 4.3
11	3.4	3.2	△ 5.9
12	1.6	1.5	3.1
2017/1	2.2	2.0	1.7
2	△ 3.0	△ 3.2	2.0
3	2.4	2.6	1.8
4	2.2	2.4	△ 0.02
5	0.1	0.5	△ 0.1
6	△ 0.03	0.2	4.5
7	1.8	1.5	△ 4.9

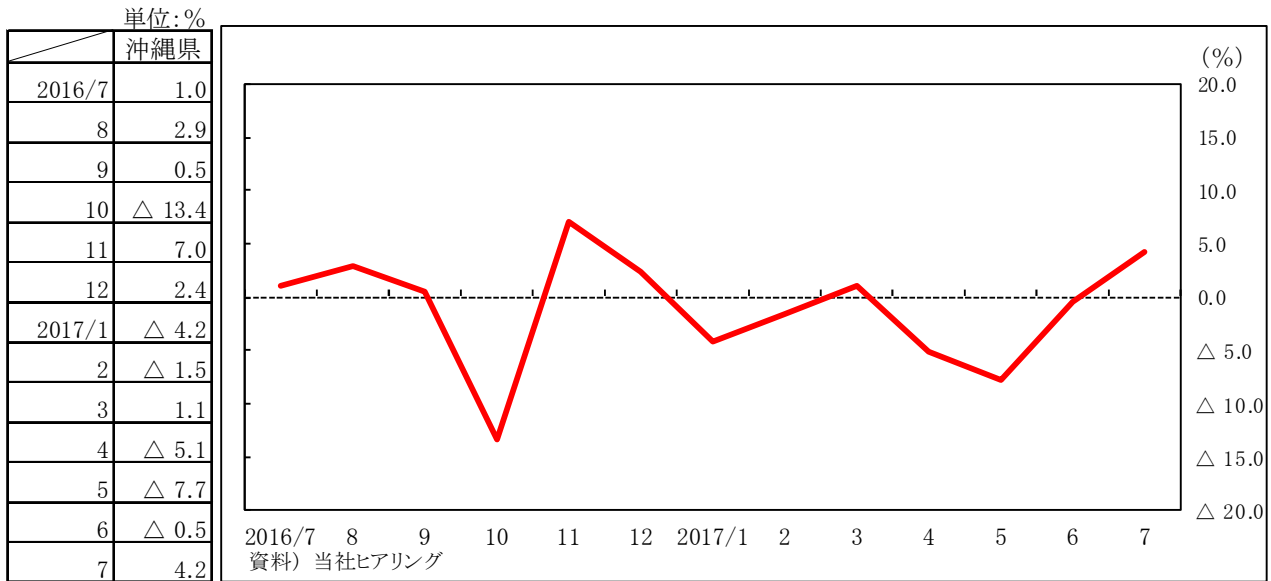


注) 前年同月比

7月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 1.8%増)」は、新規出店効果などにより、「食料品(同 1.6%増)」をはじめ、「衣料品(同 2.8%増)」、「家庭用品(同 2.5%増)」など売上が伸び、前年同月を上回りました。「既存店ベース(同 1.5%増)」では、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 1.1%増)」は、販促効果により精肉などの生鮮の売上が堅調に伸びたことから、前年同月を上回りました。また、家電を含む「家庭用品(同 2.4%増)」は、エアコンなどの季節商品の売上が堅調に伸び、前年同月を上回りました。「衣料品(同 2.8%増)」は、夏物の需要が伸び、前年同月を上回りました。

**百貨店売上高**は、新規催事企画を2件行うも、旧盆の時期が昨年(8/15-8/17)は早かったのに比べ今年(9/3-9/5)は遅いことから、お中元ギフト需要の集客が伸びず、前年同月を下回りました(同 4.9%減)。内訳をみると、「食料品(同 23.3%減)」は、お中元ギフト需要が伸びず、前年同月を下回りました。また、ウエイトの高い「衣料品(同 3.9%減)」は、「婦人服(同 4.9%減)」、「紳士服(同 2.1%減)」など、クリアランスセールなど販促企画を行うも集客が伸び悩み、前年同月を下回りました。一方で、「家庭用品(同 29.1%増)」は、新規物産催事企画などにより売上が伸び、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 17.2%増)」も、売り場のリニューアル効果や、継続的なインバウンド需要により前年同月を上回りました。

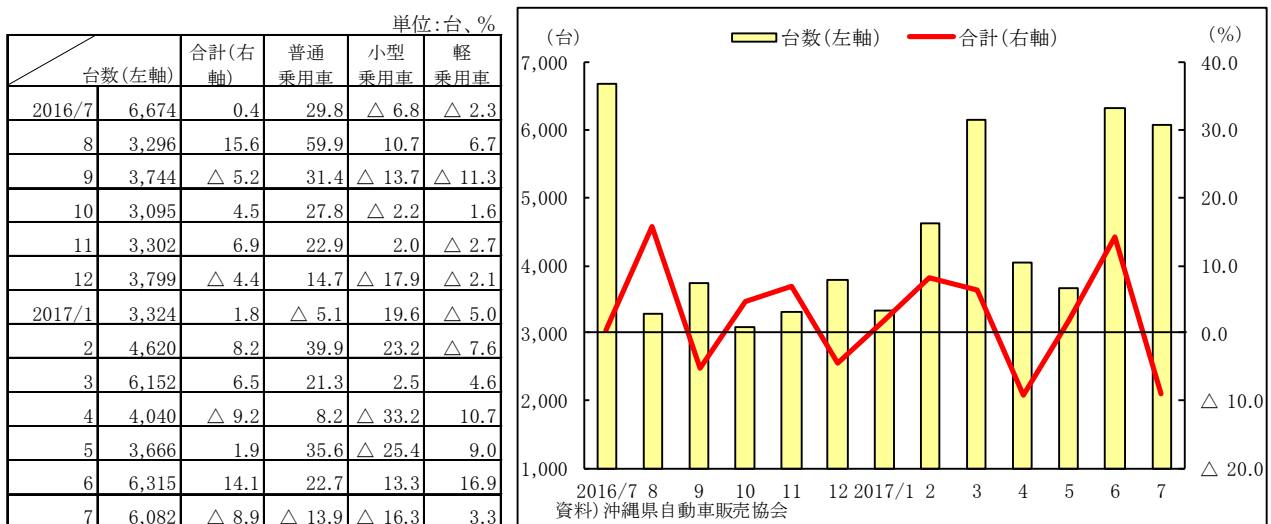
②家電卸出荷額…家電卸出荷額は4ヵ月ぶりに前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、VTR、洗濯機などの売上増加により、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 4.2%増)。品目別では、月前半の平均気温が昨年ほど上がらなかったことから、「エアコン(同 0.7%減)」、「冷蔵庫(同 15.8%減)」の需要が伸びず、また「テレビ(同 11.1%減)」、「太陽光(同 49.0%減)」も前年同月を下回りました。一方で販促効果のあった「VTR(同 84.8%増)」や「洗濯機(同 4.9%増)」、「扇風機(同 276.2%増)」が伸び、全体としては前年同月を上回りました。

③新車販売台数…新車販売台数は、3ヵ月ぶりに前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で 6,082 台(同 8.9%減)となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、レンタカー需要が 6 月に前倒しになった影響などから、「普通乗用車(同 13.9%減)」は 6ヵ月ぶりに、「小型乗用車(同 16.3%減)」は 2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。一方、「軽乗用車(同 3.3%増)」は、軽自動車税増税の影響等により落ち込んだ前年の反動から、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

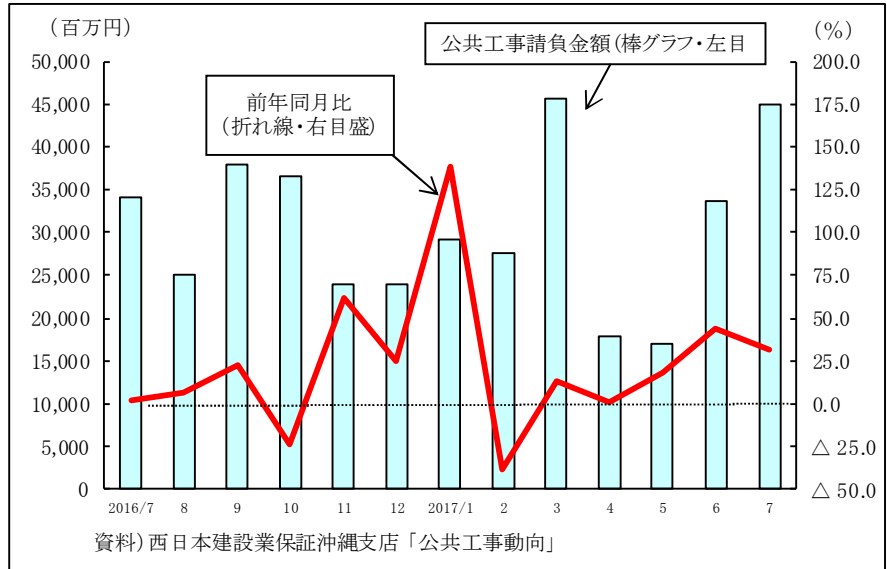


■ 建設関連: (良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

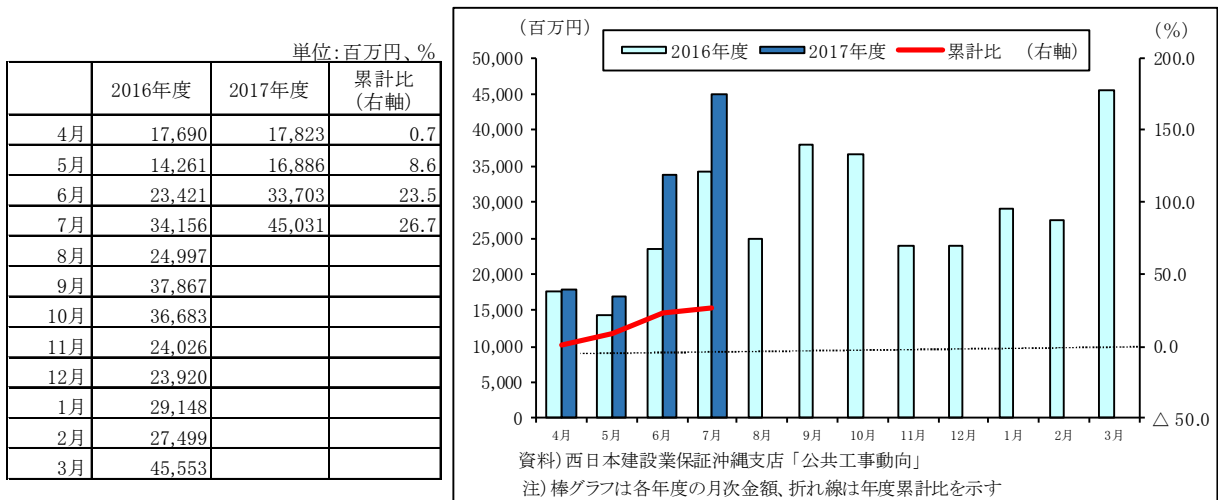
単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2016/7	34,156	2.0
8	24,997	7.0
9	37,867	22.8
10	36,683	△24.1
11	24,026	62.2
12	23,920	25.1
2017/1	29,148	138.9
2	27,499	△38.6
3	45,553	14.0
4	17,823	0.7
5	16,886	18.4
6	33,703	43.9
7	45,031	31.8



7月の**公共工事請負金額**は、前年同月比31.8%増の450億3,100万円となりました(5ヵ月連続増)。発注者別でみると、「国(同179.6%増)」は沖縄防衛局のシュワブ関連工事や那覇空港滑走路増設工事などの大型工事の前年同月を上回りました。一方で、「独立行政法人等(同75.7%減)」や「沖縄県(同25.8%減)」は前年に積み上がった大型工事、「市町村(同20.2%減)」は前年あった宜野湾市の学校給食センター新築工事、「その他の公共的団体(同82.6%減)」は前年あった沖縄産業支援センター立体駐車場整備の大型工事の反動などで前年同月を下回りました。

【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

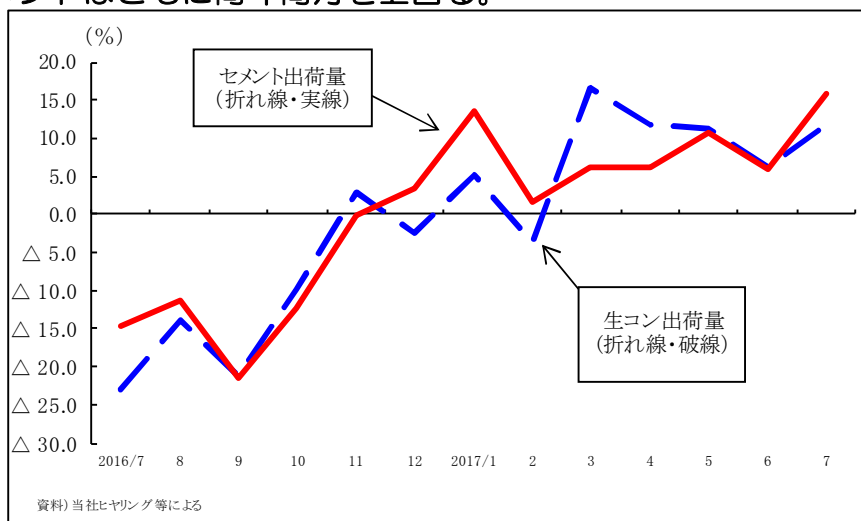


今年度4月～7月までの累計を前年度同期と比較すると、26.7%増となっています。  
(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コン、セメントはともに同年同月を上回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2016/7	△ 23.1	△ 14.8
8	△ 14.0	△ 11.4
9	△ 21.2	△ 21.4
10	△ 9.9	△ 12.4
11	3.0	△ 0.1
12	△ 2.4	3.5
2017/1	5.1	13.5
2	△ 3.7	1.6
3	16.5	6.3
4	11.6	6.1
5	11.1	10.7
6	6.1	5.9
7	11.8	15.9



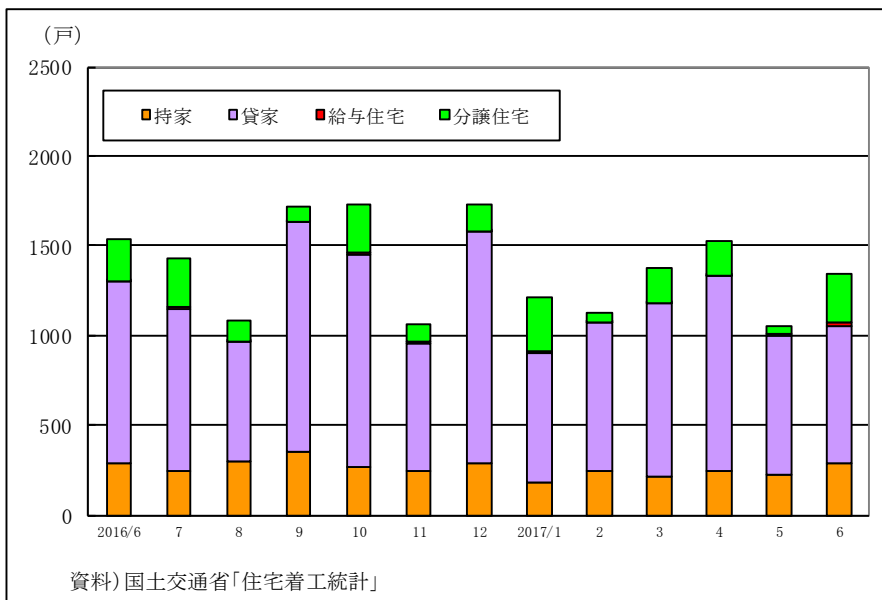
(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は11.8%増と5ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より29.0%上回り、民間工事向け出荷も4.0%上回りました。**セメント**出荷量は15.9%増と8ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(6月)…着工戸数は前年同月下回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2016/6	1,535	△16.0
7	1,432	5.1
8	1,082	△38.7
9	1,714	12.2
10	1,731	54.8
11	1,057	△19.1
12	1,728	32.3
2017/1	1,215	△11.1
2	1,125	12.5
3	1,375	29.5
4	1,528	8.4
5	1,048	△3.4
6	1,343	△12.5

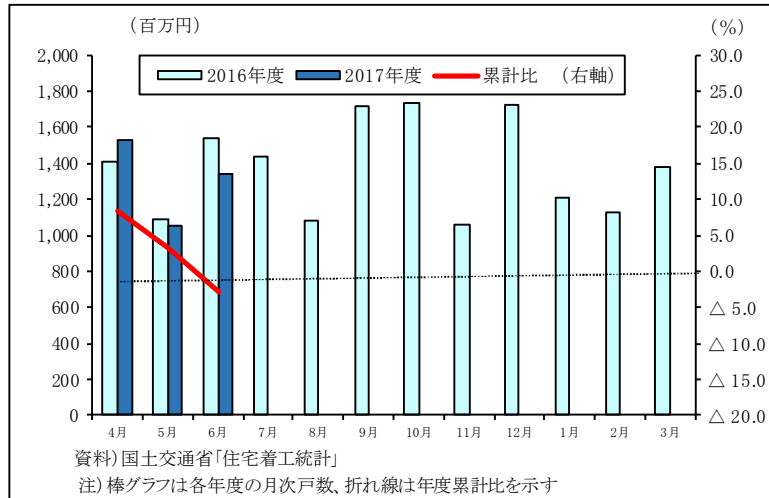


**新設住宅着工戸数(6月)**は、全体で前年同月比12.5%減の1,343戸と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同25.5%減)」は前年同月を下回った一方で、「持家(同2.1%増)」や「給与住宅(同2000.0%増)」、「分譲住宅(同17.5%増)」は上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）…前年同期を下回る。

単位:百万円、%

	2016年度	2017年度	累計比 (右軸)
4月	1,409	1,528	8.4
5月	1,085	1,048	3.3
6月	1,535	1,343	△2.7
7月	1,432		
8月	1,082		
9月	1,714		
10月	1,731		
11月	1,057		
12月	1,728		
1月	1,215		
2月	1,125		
3月	1,375		

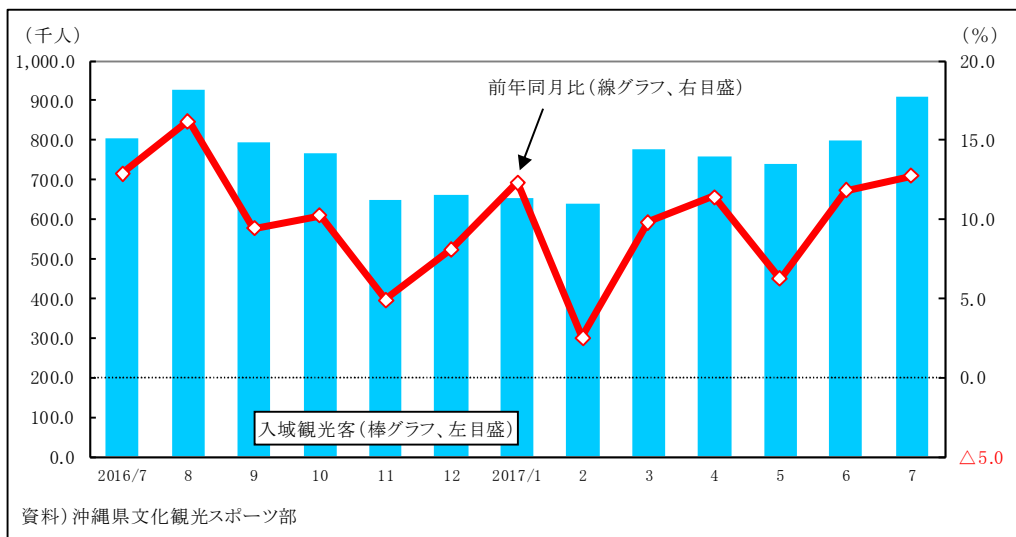


年度累計で見ると、2.7%減となっています。(上記折れ線グラフ)

■観光関連:  (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…58ヵ月連続で前年同月を上回る。

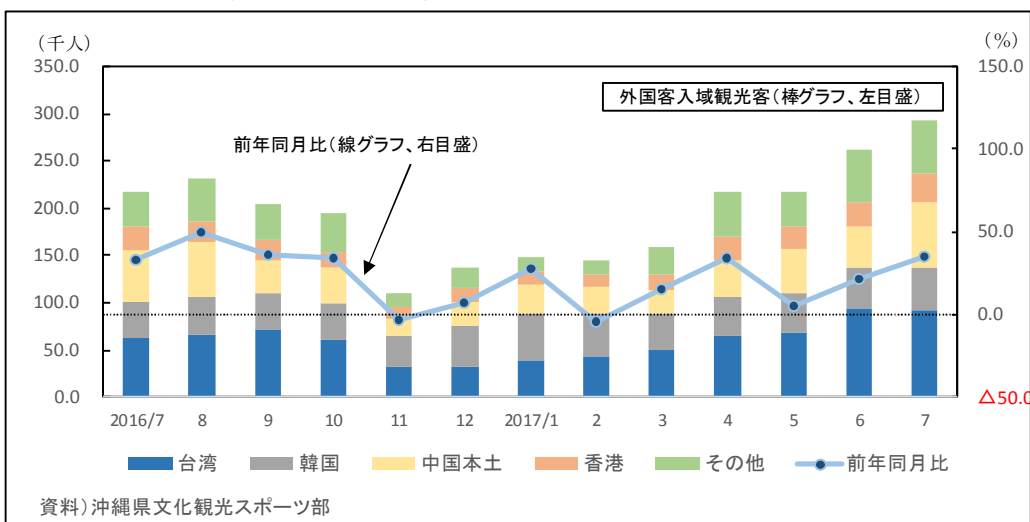
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2016/7	805.8	12.9
8	926.9	16.2
9	793.0	9.4
10	767.9	10.2
11	650.2	4.9
12	663.0	8.1
2017/1	653.0	12.3
2	637.9	2.5
3	778.5	9.8
4	759.2	11.4
5	740.6	6.2
6	798.8	11.8
7	907.9	12.7



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…5ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2016/7	217.3	33.3
8	232.0	50.0
9	203.4	36.0
10	194.7	34.2
11	110.2	△2.8
12	137.2	6.9
2017/1	147.2	28.1
2	144.1	△3.9
3	158.4	14.9
4	217.6	34.2
5	216.8	5.0
6	261.5	21.1
7	292.7	34.7



※外国客は乗務員等を含む

7月の入域観光客数は、102,100人多い907,900人(前年同月比12.7%増)となり、58ヵ月連続で前年同月を上回りました(7月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同4.5%増)」は615,200人と、深夜便などを含む航空路線の拡充(増便、北九州-那覇路線の期間限定就航等)効果や、各旅行会社及び航空会社による販売取組の強化(先行割引航空券の販売等)などにより需要が好調に推移したことなどから、16ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同34.7%増)」は、292,700人と5ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充(台北・高雄-那覇路線の増便等)効果やクルーズ船の寄港回数増加等により、空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

「台湾(同48.6%増)」「韓国(同17.2%増)」「中国本土(同25.7%増)」「香港(同19.5%増)」

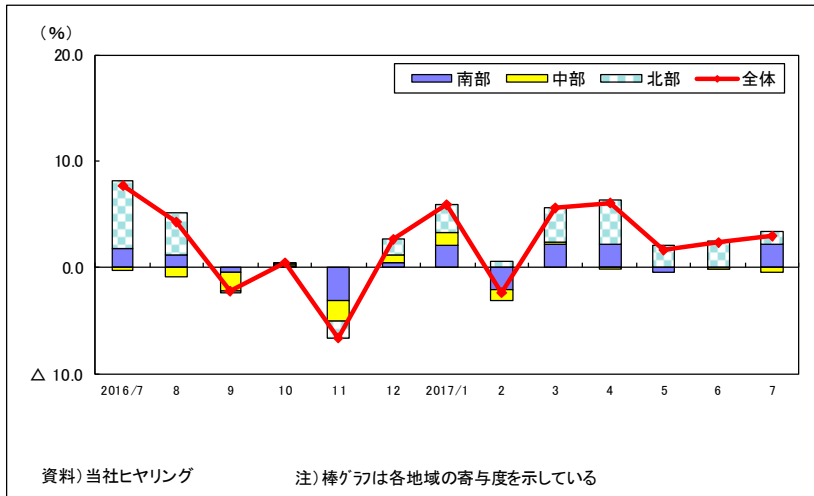
※乗務員等を除く2017年7月実績=全体867,800人(同11.3%増)、外国客252,600人(同32.2%増)、国内客は変わらない。



②観光施設入場者数…5ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2016/7	7.7	5.1	△ 3.1	11.8
8	4.3	3.5	△ 6.9	7.3
9	△ 2.3	△ 1.3	△ 15.0	△ 0.1
10	0.4	0.3	0.9	0.4
11	△ 6.7	△ 7.4	△ 14.2	△ 3.7
12	2.7	1.1	5.0	3.5
2017/1	5.9	5.4	8.9	5.5
2	△ 2.4	△ 5.6	△ 7.6	1.3
3	5.6	5.6	1.6	6.7
4	6.1	5.8	△ 1.8	8.5
5	1.5	△ 1.2	0.04	4.2
6	r 2.4	r △ 0.1	△ 1.3	5.0
7	3.0	6.6	△ 3.9	2.2



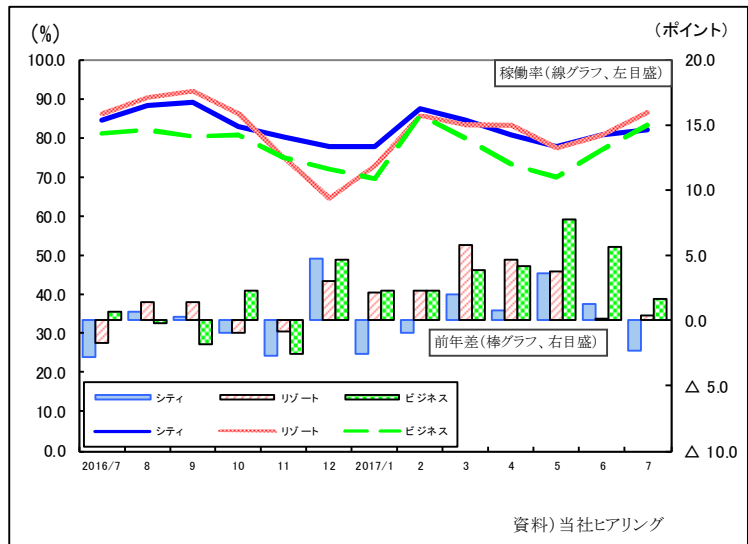
※調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より 3.0%増加(5ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 6.6%増と3ヵ月ぶり、北部は同 2.2%増と8ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同 3.9%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…リゾートホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、シティホテルは下回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2016/7	84.4	86.2	81.3	△ 2.8	△ 1.7	0.7
8	88.1	90.4	82.0	0.6	1.4	△ 0.2
9	89.2	92.1	80.4	0.3	1.4	△ 1.8
10	82.9	86.2	80.9	△ 1.0	△ 1.0	2.3
11	80.2	75.1	75.0	△ 2.7	△ 0.9	△ 2.6
12	77.6	64.4	72.0	4.8	3.0	4.6
2017/1	77.9	73.0	69.6	△ 2.6	2.1	2.3
2	87.3	85.6	85.7	△ 1.0	2.3	2.3
3	84.3	83.0	79.8	2.0	5.7	3.9
4	80.9	83.1	73.4	0.8	4.6	4.1
5	77.8	77.2	69.9	3.6	3.7	7.7
6	80.9	80.8	76.9	1.3	0.1	5.6
7	82.0	86.6	83.0	△ 2.4	0.4	1.7



注) シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注) 2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

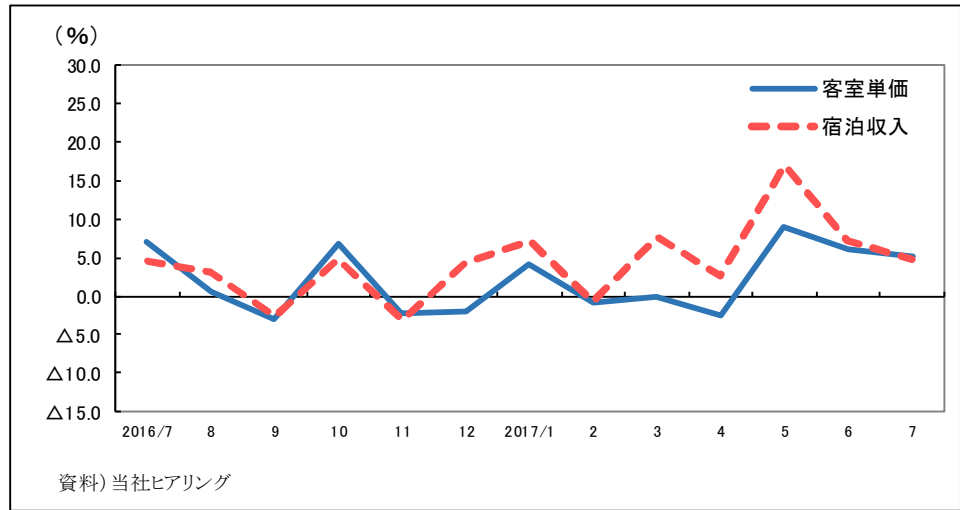
注) 2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが 82.0%と 2.4 ポイント減少(5ヵ月ぶり)、リゾートホテルが 86.6%と 0.4 ポイント上昇(8ヵ月連続)、ビジネスホテルが 83.0%と 1.7 ポイント上昇(8ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位:%		
	客室単価	宿泊収入
2016/7	r 7.1	4.6
8	0.7	3.1
9	△2.9	△2.5
10	6.8	4.9
11	△2.2	△3.0
12	△1.9	4.3
2017/1	4.2	7.1
2	△0.8	△0.6
3	△0.2	7.7
4	△2.6	2.6
5	9.1	17.0
6	6.2	7.1
7	5.2	4.7



※対象施設数:27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

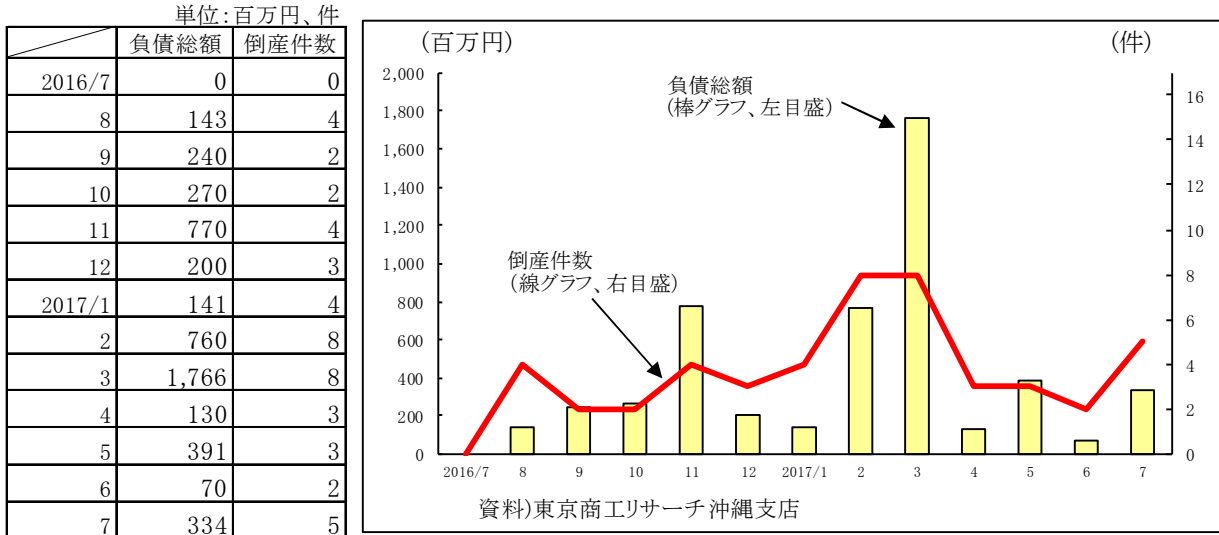
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 5.2%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同4.7%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

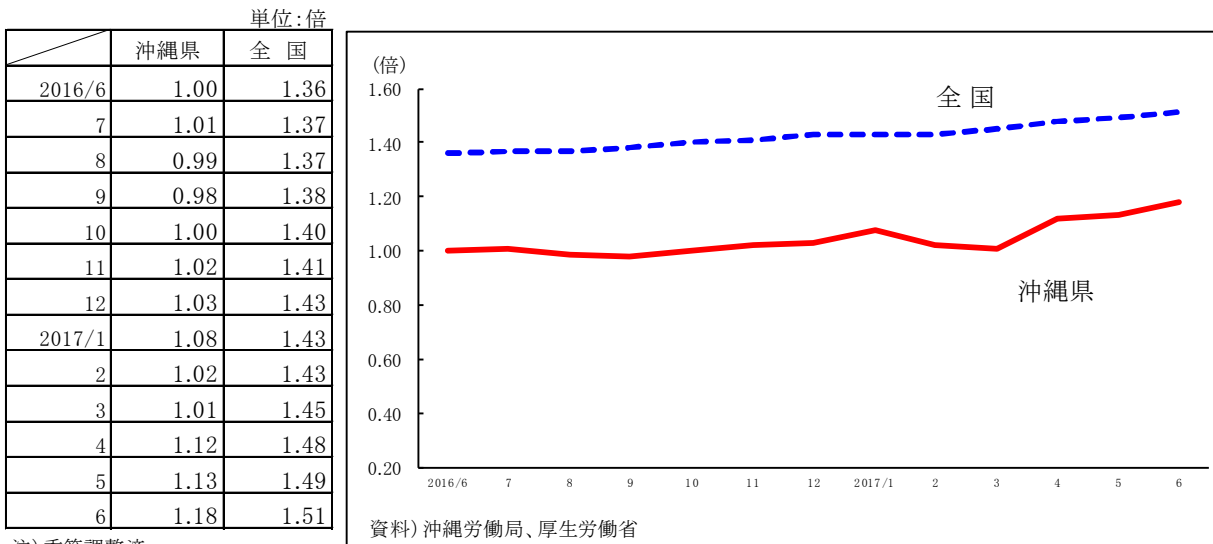


7月の**企業倒産件数**は、5件(うち大型倒産は無し、大口倒産は2件)、**負債総額**は3億3,400万円となり、いずれも発生しなかった(件数・負債総額がともに0)前年同月より増加しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考) 有効求人倍率(6月)…沖縄、全国はともに前月より上昇。

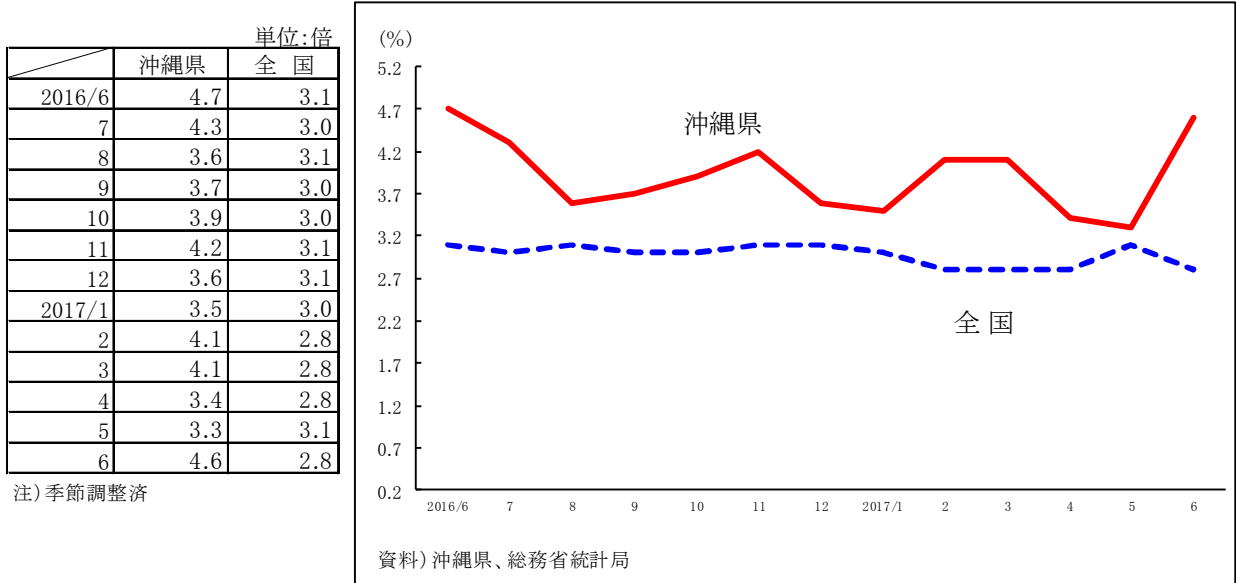


注) 季節調整済

注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

6月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比3.1%増の29,364人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.1%減の24,923人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.18倍となり前月より0.05ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(6月)…沖縄は前月より上昇、全国は低下。



注) 季節調整済

6月の完全失業率(季節調整値)は、4.6%となり前月より1.3ポイント上昇しています。